

橋梁技術発表会 及び 講演演会

メインテーマ
《鋼橋技術の最近の話題》

13:00~13:05

開会の辞 社団法人日本橋梁建設協会 副会長 山川 朝生

第1部：技術発表会

13:05~13:45

1. 細幅箱桁の設計と施工
—福岡高速道路5号線503工区・504工区—
技術委員会設計小委員会

13:45~14:25

2. 鋼製橋脚検討特別委員会報告
—既設鋼製橋脚における耐震性能評価—
技術委員会鋼製橋脚検討特別委員会

14:25~15:05

3. 海外工事報告
—中国潤揚大橋上部工架設エンジニアリング業務—
企画委員会国際小委員会

15:05~15:20

休憩

15:20~15:55

第2部：伊藤學賞表彰式

第3部：特別講演会

16:00~16:10

挨拶 社団法人日本橋梁建設協会 会長 川田 忠樹

16:10~17:10

1. 鋼・合成構造への期待
早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 教授 依田 照彦

17:10~18:10

2. 本四架橋について
関西電力株式会社 顧問 萩原 浩

18:10~18:15

閉会の辞 橋梁技術発表会実行委員会 委員長



●東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」 徒歩1分
●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3.5番出口」 徒歩8分

日 時 / 平成19年10月12日(金) 13:00~18:10

会 場 / 銀座ブロッサム 中央会館ホール 〒100-0012 東京都中央区銀座2-15-6 Tel. 03-3542-8585

申 込 方 法 / ① Eメール(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は8月下旬から)
② Fax(指定の用紙に記載) Fax. 03-3561-5235

申 込 期 限 / 平成19年9月26日(水)

主 催・連 絡 先 / 社団法人 日本橋梁建設協会 〒104-0061 東京都中央区銀座2-2-18 鉄骨橋梁会館1階 Tel. 03-3561-5225

※ CPDS 認定予定(継続学習制度)

※ 東北地区は11月2日(金)、大阪地区は11月13日(火)開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認ください。

参加費無料

定員 650 名

申込先着順

・細幅箱桁の設計と施工

—福岡高速道路5号線503工区・504工区—

本橋は箱断面の腹板間隔を従来箱桁より狭くすることにより、縦リブおよび横リブを省略するなど箱内構造を簡素化しています。また、長期耐久性を有した剛性の大きな鋼・コンクリート合成床版を採用し、縦桁および横桁を省略することで大幅な合理化を図っています。そのため、床組や補材等がないことから維持管理に優れ、シンプルな構造となり景観性もより向上しています。

・鋼製橋脚検討特別委員会報告

—既設鋼製橋脚における耐震性能評価—

既設鋼製橋脚隅角部の大地震時の安全性を精度よく簡便に照査する方法が求められています。大地震時安全性照査には非線形動的解析が要求されていますが、解析条件、コスト、精度について検討事項が少なくありません。本委員会では鋼製橋脚の大地震時の照査法とそれらの問題点を調査し、既設鋼製橋脚の大地震時耐力照査法の素案を作成したので結果を報告します。

・海外工事報告

—中国潤揚大橋上部工架設エンジニアリング業務—

中国国内においては、1000mを超える吊橋を建設した経験を有する企業がありませんでした。施主である江蘇省建設指揮部は、元請会社である二公局が吊橋建設工事を施工していくにあたり、十分な経験を有する外国企業の参画が不可欠であると判断しました。そこで、新日鉄エンジニアリング(株)では架設計画、特殊設備リース、現地S.V.業務を実施することとなりました。ここでは技術検討、架設指導等エンジニアリング業務について報告します。

特別講演会 講演者の紹介

依田 照彦 (早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 教授)

【略歴】

1946.9 東京都生まれ
 1970.3 早稲田大学理工学部土木工学科卒業
 1972.3 早稲田大学大学院修士課程修了
 1978.3 早稲田大学大学院博士課程修了、工学博士
 1980.4 早稲田大学理工学部専任講師
 1982.4 早稲田大学理工学部助教授
 1987.4 早稲田大学理工学部教授

 1998.8
 ~2002.2 (財) 高速道路技術センター、東海北陸自動車道
 鋼トラス橋の合理化構造に関する調査研究委員会委員長
 2004.1~ (財) 鉄道総合技術研究所、鉄道鋼・合成構造物設計標準
 に関する委員会委員長
 2005.6
 ~2007.5 (社) 土木学会、鋼構造委員会委員長

萩原 浩 (関西電力株式会社 顧問)

【略歴】

1930.9 東京都生まれ
 1955.3 東京大学工学部土木工学科卒業
 1955.4 建設省入省(関東地方建設局)
 1980.7 道路局企画課長
 1982.6 大臣官房技術参事官
 1984.6 近畿地方建設局長
 1985.10
 ~1987.1 道路局長
 1988.5 本州四国連絡橋公団理事
 1988.9 副総裁
 1990.9
 ~1995.12 総裁
 1997.7 関西電力株式会社顧問

 1996.5
 ~2000.5 (社) 日本道路協会会長
 1998.5
 ~2003.5 (社) 日本トンネル技術協会会長

きりとり線

Fax番号 03-3561-5235

平成19年度
橋梁技術発表会

参加申込書

所 属 団体名 _____ 所属 _____
 氏 名 役職 _____ 氏名 _____
 郵便番号 □□□□-□□□□
 住 所 _____
 電 話 番 号 _____ () _____ FAX番号 _____ () _____
 メールアドレス _____
 前回参加の有無 _____ 有 _____ 無 _____